

# 一般国道403号 道路拡幅整備に係る 計画段階環境配慮計画書

## 計画概要説明



新潟市  
Niigata City

## 本日の説明内容

- 1 一般国道403号道路拡幅整備の概要
- 2 対象事業区間及びその周辺の状況（動画）
- 3 計画段階配慮計画書の概要
- 4 意見書について

# 1

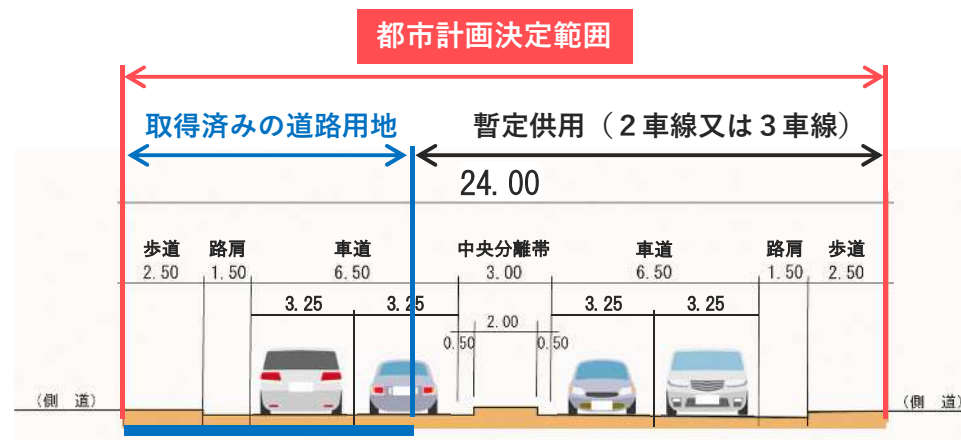
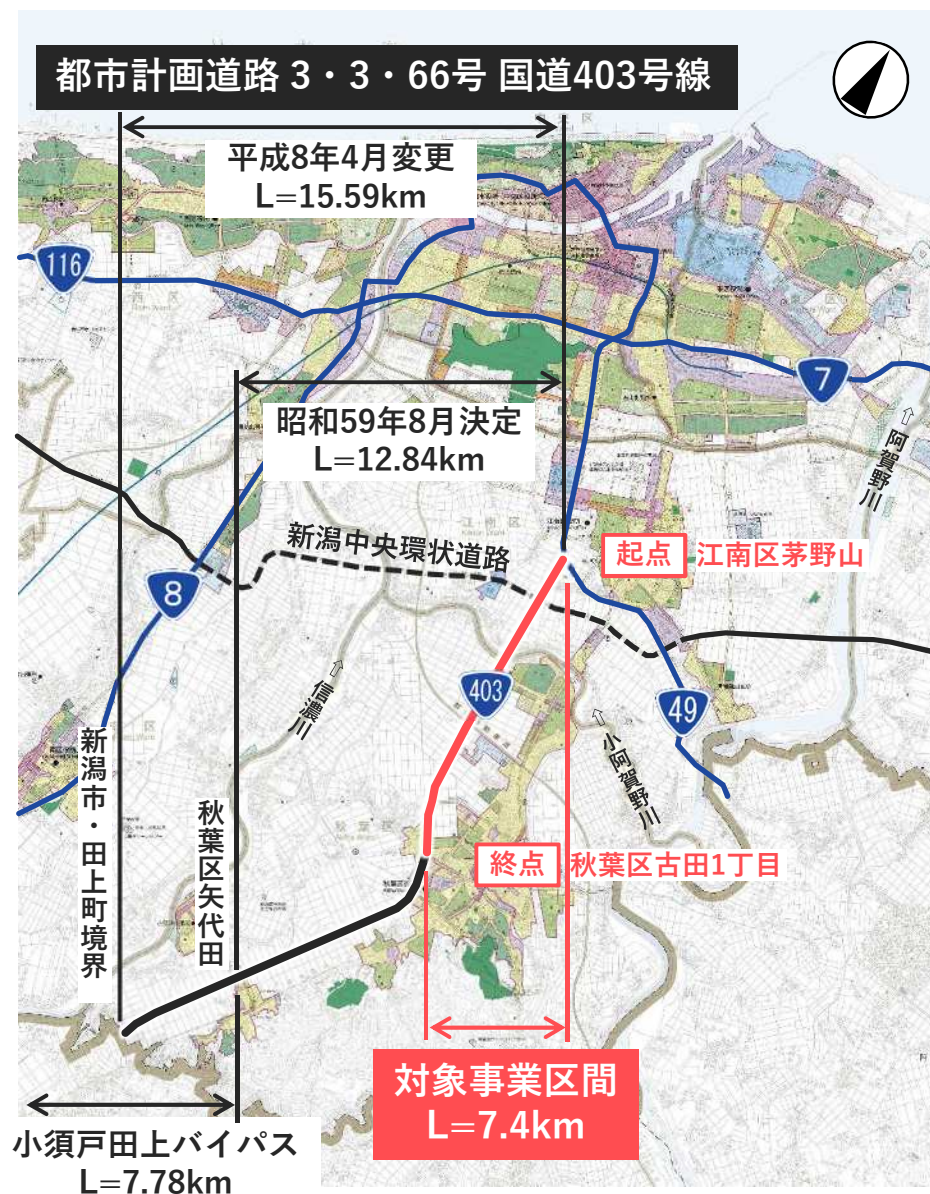
一般国道 4 0 3 号

道路拡幅整備の概要



一般国道403号道路拡幅整備の概要

P.2-1～5



※平成8年都市計画決定時のものであり、断面構成は変更となる場合があります。



## 本事業区間の位置付け

**目指す都市の姿**  
市街地と田園・自然の多様な魅力が  
人をつなぐ多核連携型都市 新潟



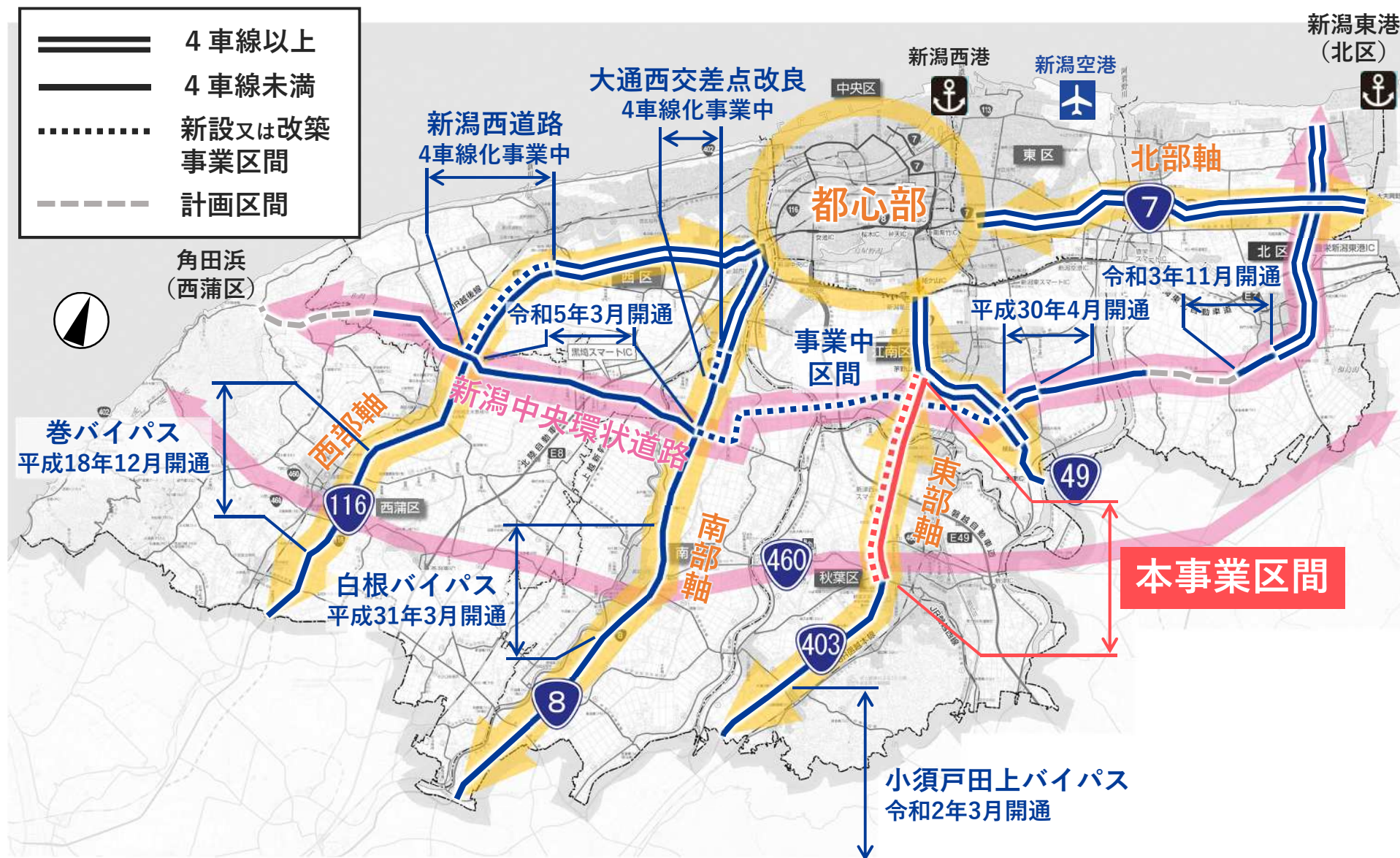
**本事業区間**

都市部と江南区・秋葉区を結ぶ  
都心アクセス軸を形成

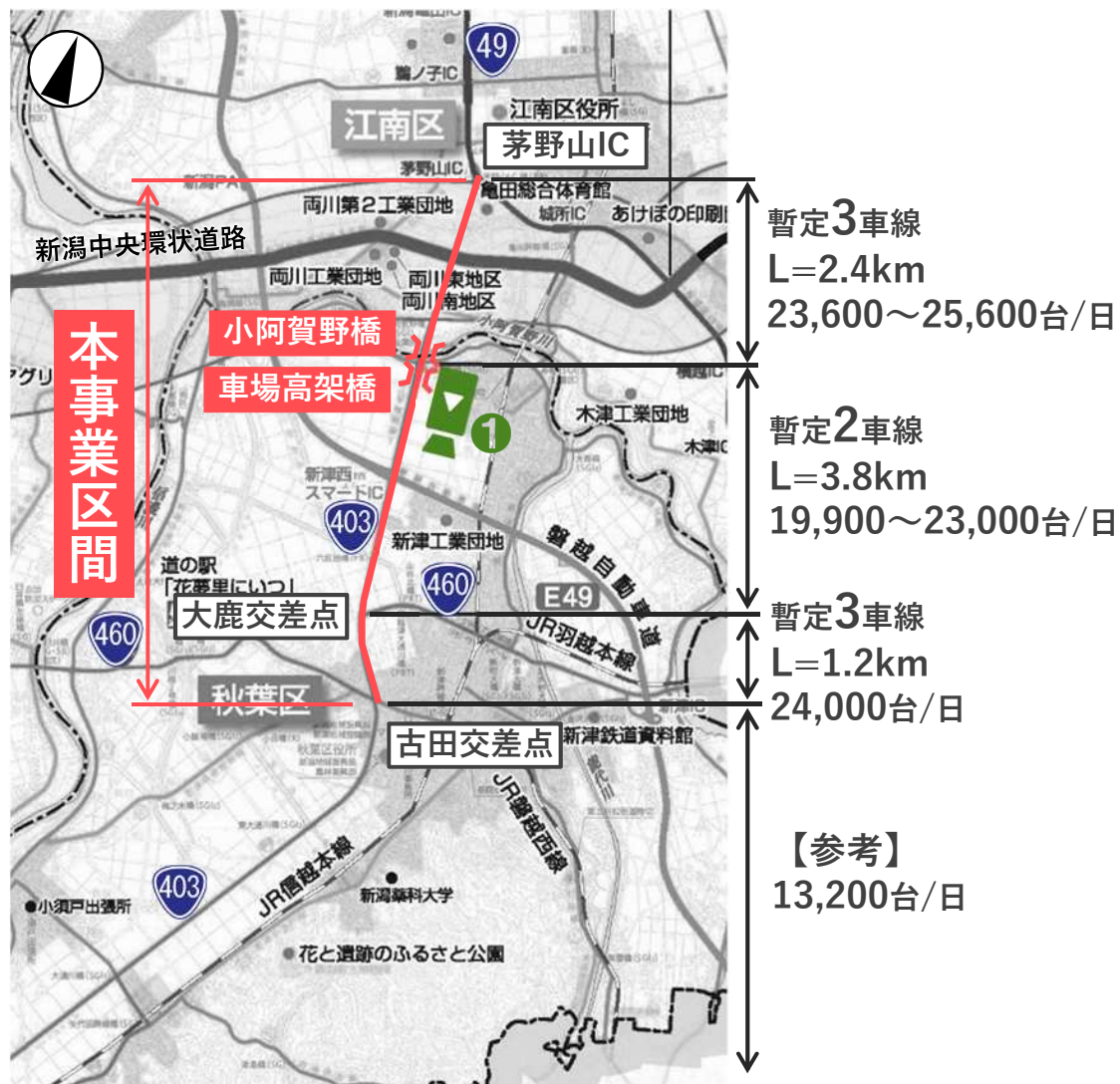




## 放射環状型道路ネットワークの現状



## 本事業区間の現状



### 道路構造令による車線数の規定

- 道路の種級区分は第3種第1級
- 第3種第1級の道路の車線数は4以上

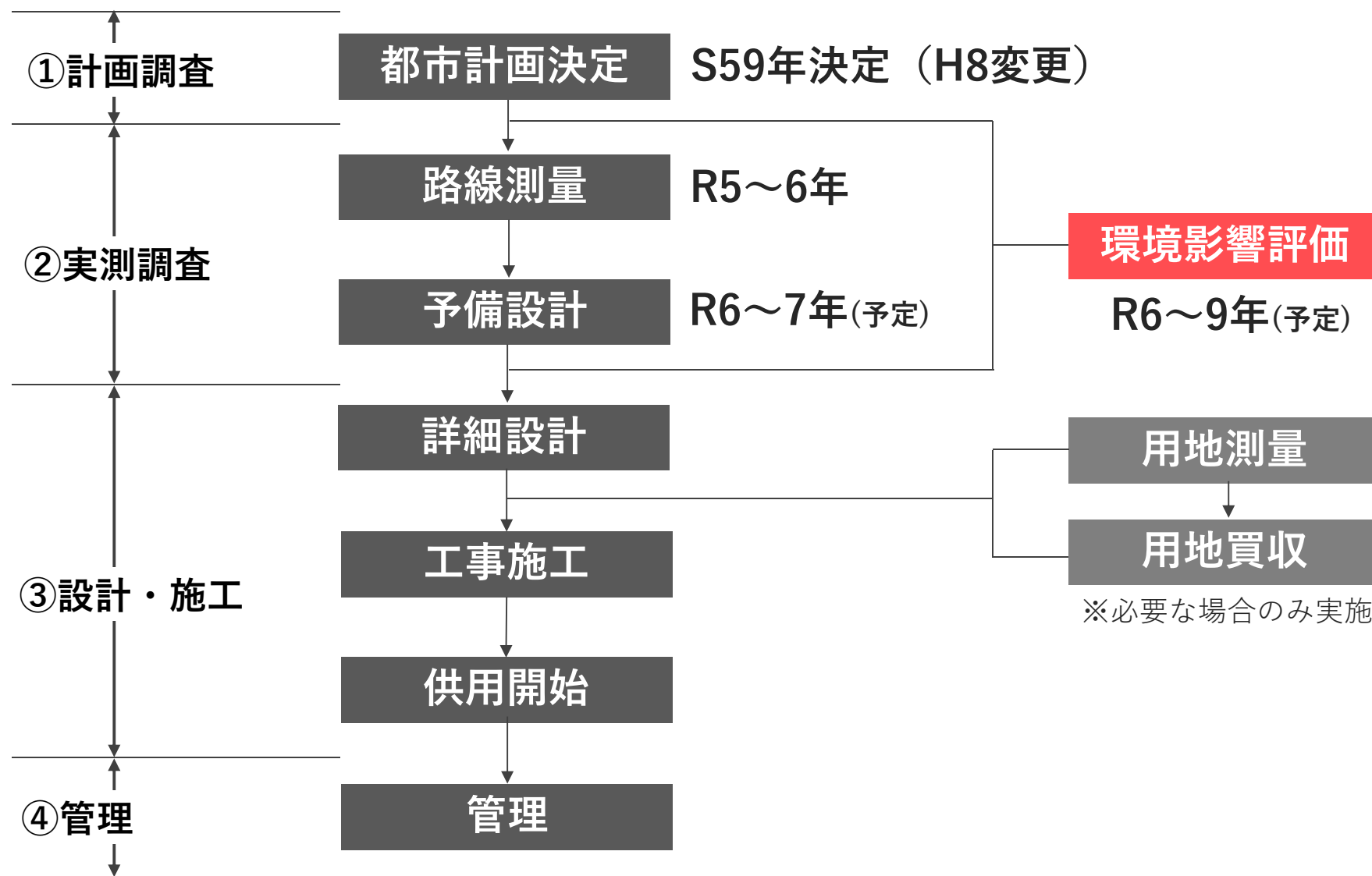
道路の存する地域	地方部		都市部
	第1種	第2種	第3種
高速自動車国道及び自動車専用道路又はその他の道路の別	第1種	第2種	第3種
その他の道路	第3種	第4種	第5種

### 三 第3種の道路

道路の種別	計画交通量 (単位: 1日に 通過する車両台数)	道路の存する地域の地形				
		20,000以上	4,000以上 20,000未満	1,500以上 4,000未満	500以上 1,500未満	500未満
一般国道	平地部	第1級	第2級	第3級	第4級	第5級
	山地部	第2級	第3級	第4級	第5級	第6級
都道府県道	平地部	第2級	第3級	第4級	第5級	第6級
	山地部	第3級	第4級	第5級	第6級	第7級



今後の動き





# 2

## 対象事業区間及び その周辺の状況（動画）

# 3

## 計画段階配慮計画書の概要

- (1) 複数案の設定
- (2) 地域の概況
- (3) 計画段階配慮事項の選定結果
- (4) 予測及び評価の結果
- (5) 計画段階配慮事項の検討に係る総合評価

## ゼロ・オプションの検討

### 位置付け

- ・ 広域都市の健全なる発展を図る **都市計画道路**の一部区間
- ・ 本市の目指す **多核連携型都市構造**における都心から **放射状に広がる国道**のひとつ
- ・ 緊急輸送道路として **災害時における重要な道路ネットワーク**の一部

### 現状

- ・ 暫定2～3車線に伴い小阿賀野橋周辺や古田交差点で **慢性的な渋滞**発生
- ・ 新潟中央環状道路との接続による更なる渋滞の懸念

### 4車線に拡幅整備

物流、交流、連携の強化  
災害に強い道路ネットワークの構築

本市の **まちづくりに重要な事業**であり、本事業の **実施は必要**であると判断



### 位置等に関する複数案の設定

位置  
規模

施設配置や規模等の検討を行い、  
地域の合意形成が図られた上で決定された都市計画道路

既に決定された道路法線を尊重

経済性  
環境負荷

既に取得済み道路用地内で暫定2～3車線を4車線に拡幅整備

新たな道路用地の取得が不要  
既存土地利用の改変面積が小さい

複数案の設定は合理的ではないため、**単一案**とする。

### 3.計画段階配慮計画書の概要 (2) 地域の概況

P12

新潟市

#### 自然的状況の概況 (1)

P.3-2～47

<div>大気質</div> <div>図3.2.2(1) 表3.2.2(3)～(12)</div>		二酸化窒素	光化学オキシダント	浮遊粒子状物質	微小粒子状物質
	亀田	○	×	○	○
	新津	○	×	対象外	○
	※自動車排出ガスの測定は未実施				
<div>騒音</div> <div>図3.2.1(1) 表3.2.2(13)～(15)</div>	一般地域騒音		自動車交通騒音	高速道路騒音	
	評価地点：5箇所 騒音レベル：昼間46～49dB 夜間38～44dB 環境基準：昼間55～60dB 夜間45～50dB		評価地点：17箇所 環境基準達成率：57%～100%	評価地点：1箇所 騒音レベル：昼間55dB 夜間53dB 環境基準：昼間65dB 夜間60dB	
振動	振動調査は未実施				
<div>水質</div> <div>図3.2.2(2) 表3.2.2(17)～(21)</div>	【小阿賀野川の水質】				
		基準適合		基準不適合	
	生活環境項目	pH、BOD		DO、SS	
	健康項目	カドミウムなど26項目		なし	
	水生生物保全項目	全亜鉛、ノニルフェノール		なし	
	その他	ダイオキシン類		なし	

### 3.計画段階配慮計画書の概要 (2) 地域の概況

P13  
新潟市

#### 自然的状況の概況 (2)

P.3-2～47

<b>底 質</b> <small>図3.2.2(2) 表3.2.2(21)</small>	<b>【小阿賀野川の底質】</b> 基準適合：ダイオキシン類	
<b>地形・地質</b> <small>図3.2.1(1)</small>	<b>【重要な地形】</b> 阿賀野川下流右岸の沖積面に残る旧流路	
<b>動 物</b> <small>図3.2.1(2) 表3.2.2(25)</small>	重要な種	越冬地
	哺乳類：1種 鳥類：17種 両生類：4種 淡水魚類：5種 大型水生甲殻類：6種 昆虫類：5種 陸・淡水産貝類：13種	鳥屋野潟鳥獣保護区 （コハクチョウ、オオハクチョウ等の 渡り鳥の飛来地）
<b>植 物</b> <small>図3.2.1(2) 表3.2.2(26)</small>	重要な種	巨樹・巨木林
	維管束植物種：69種	ケヤキ、イチヨウ、タブノキ等



### 3.計画段階配慮計画書の概要 (2) 地域の概況

P14  
新潟市

#### 自然的状況の概況 (3)

P.3-2～47

<b>景観及び 人と自然との 触れ合いの 活動の場</b>  図3.2.1(3) 表3.2.2(27)～(28)	眺望点	景観資源	人と自然との触れ合いの活動の場
	亀田農村公園 大藏神社 諏訪神社 等	国道403号フラワーロード 小阿賀野川 等	亀田農村公園 阿賀野川フラワーライン 等
<b>文化財</b>  図3.2.1(3) 表3.2.2(29)	新潟県指定文化財2件 新潟市指定文化財19件 多数の埋蔵文化財包蔵地		
<b>一般環境中の 放射性物質の 状況</b>  図3.2.1(1) 表3.2.2(30)～(31)	空間放射線量率 ( $\mu\text{Sv/h}$ )		土壌放射性物質 (Bq/kg)
	測定地点2箇所 空間放射線量率：0.073～0.088 通常の測定範囲：0.016～0.16		測定地点4箇所 ヨウ素131：不検出 セシウム134：不検出 セシウム137：不検出

### 3.計画段階配慮計画書の概要

#### (2) 地域の概況

P15  
新潟市

#### 社会的状況の概況

P.3-48～97

人 口 図3.3.1(4)	集落：茅野山集落、割野集落、古田集落等 人口集中地区（DID）が存在する。			
土地利用 図3.3.1(1) 図3.3.1(2)	土地利用計画における指定状況		都市計画区域の指定状況	
	市街化区域 市街化調整区域 農業地域 農用地区域		第一種住居地域 第一種中高層住居専用地域 準工業地域	
河川利用 図3.3.1(3)	【小阿賀野川の河川利用】 農業用に利水されている。			
交 通 図3.3.1(4)	・一般県道沢海酒屋線等と交差 ・主要地方道新潟中央環状線と交差する計画			
公共施設 図3.3.1(4) 表3.3.2(9)～(13)	教育施設	福祉施設	医療施設	文化施設
	39施設	134施設	6施設	27施設
法令等による 指定等 図3.2.1(2) 図3.3.1(5)～(9) 表3.3.1(3)	・鳥獣保護区：鳥屋野潟鳥獣保護区、秋葉鳥獣保護区 ・環境基本法に基づく騒音、水質の類型指定 ・騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法に基づく規制区域			

3.計画段階配慮計画書の概要  
(3) 計画段階配慮事項の選定結果

P16  
新潟市

計画段階配慮事項の選定（1）

P.4-2～6

●：今回選定    ▲：方法書段階での選定を想定    ×：選定しない

影響要因 環境要素	工事の実施				
	建設機械の稼働	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行	切土工等又は既存工作物の撤去等	工事施工ヤードの設置	工事用道路等の設置
大気質（粉じん等）	▲	▲			
騒音・振動	▲	▲			
水質（水の濁り）			▲	▲	▲
地形及び地質				×	×
動物	▲	▲	▲	▲	▲
植物			▲	▲	▲
生態系			▲	▲	▲
廃棄物等			▲		
温室効果ガス等	▲	▲			
文化財			▲	▲	▲
放射線の量	×	×	×	×	×



3.計画段階配慮計画書の概要  
(3) 計画段階配慮事項の選定結果

P17  
新潟市

計画段階配慮事項の選定 (2)

P.4-2~6

●：今回選定    ▲：方法書段階での選定を想定    ×：選定しない

環境要素 影響要因	土地又は工作物の存在及び供用				
	道路（地表式又は掘割式）の存在	道路（嵩上式）の存在	消雪パイプの稼働	自動車の走行	休憩所の存在及び供用
大気質（NO <sub>2</sub> 、SPM）				●	
騒音・振動				●	
水質（水の汚れ、水の濁り）					×
地形及び地質	×	×			
地盤		×	×		
日照障害		×			
動物	●	×			
植物	●	×			
生態系	●	×			
景観	●	×			×
人と自然との触れ合い	●	×			
温室効果ガス等				▲	×
文化財	●	×			

予測及び評価の手法

P.4-7～34

方針

- ・ 本事業による環境の状況変化、環境への負荷量を可能な限り定量的に把握
- ・ 定量的な把握が困難な場合は定性的に把握

手法

- ・ 「環境配慮が必要な対象」の位置等と「環境影響想定範囲」との重なりを把握
- ・ 位置関係や事業特性、地域特性を考慮
- ・ 事例の引用が可能な要素はその結果を引用し、環境の変化の程度等を把握

重大な環境影響が実行可能な範囲で回避・低減されているかを整理

環境影響想定範囲：「道路環境影響評価の技術手法（平成24年版）」

（平成25年3月、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人土木研究所）

引用事例：「新潟都市計画道路3・4・590号新潟中央環状道路境影響評価書」  
（平成23年11月、新潟市）

### 3.計画段階配慮計画書の概要 (4) 予測及び評価の結果

P19

新潟市

## 大気質（自動車の走行） [予測方法]

P.4-7～34

### 予測項目

- ・ 二酸化窒素 ( $\text{NO}_2$ )
- ・ 浮遊粒子状物質 (SPM)

### 予測方法

配慮施設等との位置関係と交通量変化を踏まえ、引用事例から本事業の計画交通量における環境影響の変化量を推計

### 凡 例

- 対象事業実施想定区域
- ⋯ 大気質影響想定範囲（道路端から 150m）
- △ 一般環境大気測定局
- ◆ 引用事例交通量調査地点
- ◆ 引用事例予測地点
- 本事業予測地点
- 人口集中（DID）地区
- （数値） 計画交通量（台 / 日）  
（旧新潟市 S75(2000) 年交通量配分図より）





3.計画段階配慮計画書の概要  
(4) 予測及び評価の結果

P20

新潟市

大気質（自動車の走行） [予測結果]

P.4-7～34

予測地点		二酸化窒素（NO <sub>2</sub> ）			浮遊粒子状物質（SPM）		
		予測値	評価値	基準 達成 状況	予測値	評価値	基準 達成 状況
		年 平均値 (ppm)	日平均値の 年間98%値 (ppm)		年 平均値 (mg/m <sup>3</sup> )	日平均値の 年間2% 除外値 (mg/m <sup>3</sup> )	
引用事例		0.01262	<b>0.027</b>	達成	0.02630	<b>0.064</b>	達成
本 事 業	(1)江南区茅野山	0.00671	<b>0.017</b>	達成	0.01029	<b>0.028</b>	達成
	(2)秋葉区車場	0.00674	<b>0.017</b>	達成	0.01029	<b>0.028</b>	達成
	(3)秋葉区北上	0.00681	<b>0.017</b>	達成	0.01030	<b>0.028</b>	達成
	(4)秋葉区古田	0.00605	<b>0.016</b>	達成	0.01018	<b>0.028</b>	達成

環境基準

0.04ppmから0.6ppmまでの  
ゾーン内又はそれ以下  
(1時間値の1日平均値)

環境基準

0.10mg/m<sup>3</sup>以下  
(1時間値の1日平均値)  
(長期的評価)

### 3.計画段階配慮計画書の概要 (4) 予測及び評価の結果

P21

新潟市

## 騒音（自動車の走行） [予測方法]

P.4-7～34

### 予測項目

等価騒音レベル

### 予測方法

配慮施設との位置関係と交通量変化を踏まえ、引用事例から本事業の計画交通量における環境影響の変化量を推計

### 凡 例

- 対象事業実施想定区域
- ⋯ 騒音影響想定範囲（道路端から 200m）
- ◆ 引用事例現況調査地点
- 本事業予測地点
- 人口集中（DID）地区
- A 類型（騒音に係る環境基準）
- B 類型（騒音に係る環境基準）
- C 類型（騒音に係る環境基準）
- (数値) 計画交通量（台 / 日）  
（旧新津市 S75(2000) 年交通量配分図より）



3.計画段階配慮計画書の概要  
(4) 予測及び評価の結果

P22

新潟市

騒音（自動車の走行） [予測結果]

P.4-7～34

予測地点	等価騒音レベル（dB）			基準達成 状況
	予測値	整合を図るべき基準		
(1)江南区茅野山	昼間：62 夜間：57	近接 空間	昼間：70 夜間：65	達成
(2)秋葉区車場	昼間：62 夜間：57	近接 空間	昼間：70 夜間：65	達成
(3)秋葉区北上	昼間：63 夜間：58	C地域	昼間：65 夜間：60	達成
(4)秋葉区古田	昼間：60 夜間：55	B地域	昼間：65 夜間：60	達成
		A地域	昼間：60 夜間：55	達成



### 3.計画段階配慮計画書の概要 (4) 予測及び評価の結果

P23

新潟市

## 振動（自動車の走行） [予測方法]

P.4-7～34

### 予測項目

時間率振動レベル

### 予測方法

配慮施設との位置関係と交通量変化を踏まえ、引用事例から本事業の計画交通量における環境影響の変化量を推計

### 凡 例

- 対象事業実施想定区域
- ⋯ 振動影響想定範囲（道路端から 100m）
- ◆ 引用事例現況調査地点
- 本事業予測地点
- 人口集中（DID）地区
- 第1種区域（振動規制基準に係る区域の区分）
- 第2種区域（振動規制基準に係る区域の区分）
- （数値） 計画交通量（台／日）  
（旧新津市 S75(2000) 年交通量配分図より）



3.計画段階配慮計画書の概要  
(4) 予測及び評価の結果

振動（自動車の走行） [予測結果]

P.4-7～34

予測地点	振動レベル（dB）			基準達成 状況
	予測結果	整合を図るべき基準		
(1)江南区茅野山	昼間：44 夜間：42	第2種	昼間：70 夜間：65	達成
(2)秋葉区車場	昼間：44 夜間：42	第2種	昼間：70 夜間：65	達成
(3)秋葉区北上	昼間：44 夜間：42	第2種	昼間：70 夜間：65	達成
(4)秋葉区古田	昼間：42 夜間：40	第1種	昼間：65 夜間：60	達成



大気質・騒音・振動（自動車の走行）〔評価結果〕

P.4-7～34

基準又は  
目標との整合

予測値は**基準を満足**し、整合が図られている

重大な環境影響の**回避又は低減が図られる**ものと評価

環境影響の  
回避、低減  
に係る評価

- ・ **道路路肩を十分に確保**し、可能な地点は盛土構造とする。
- ・ 将来の技術開発等を踏まえ、事業者の実行可能な範囲内でできるかぎり環境影響が回避されるよう**環境保全措置の採用に努める**。

事業者の実行可能な範囲で**影響は回避、低減されている**ものと評価

### 3.計画段階配慮計画書の概要 (4) 予測及び評価の結果

P26

新潟市

## 動物・植物・生態系（道路の存在） [予測方法]

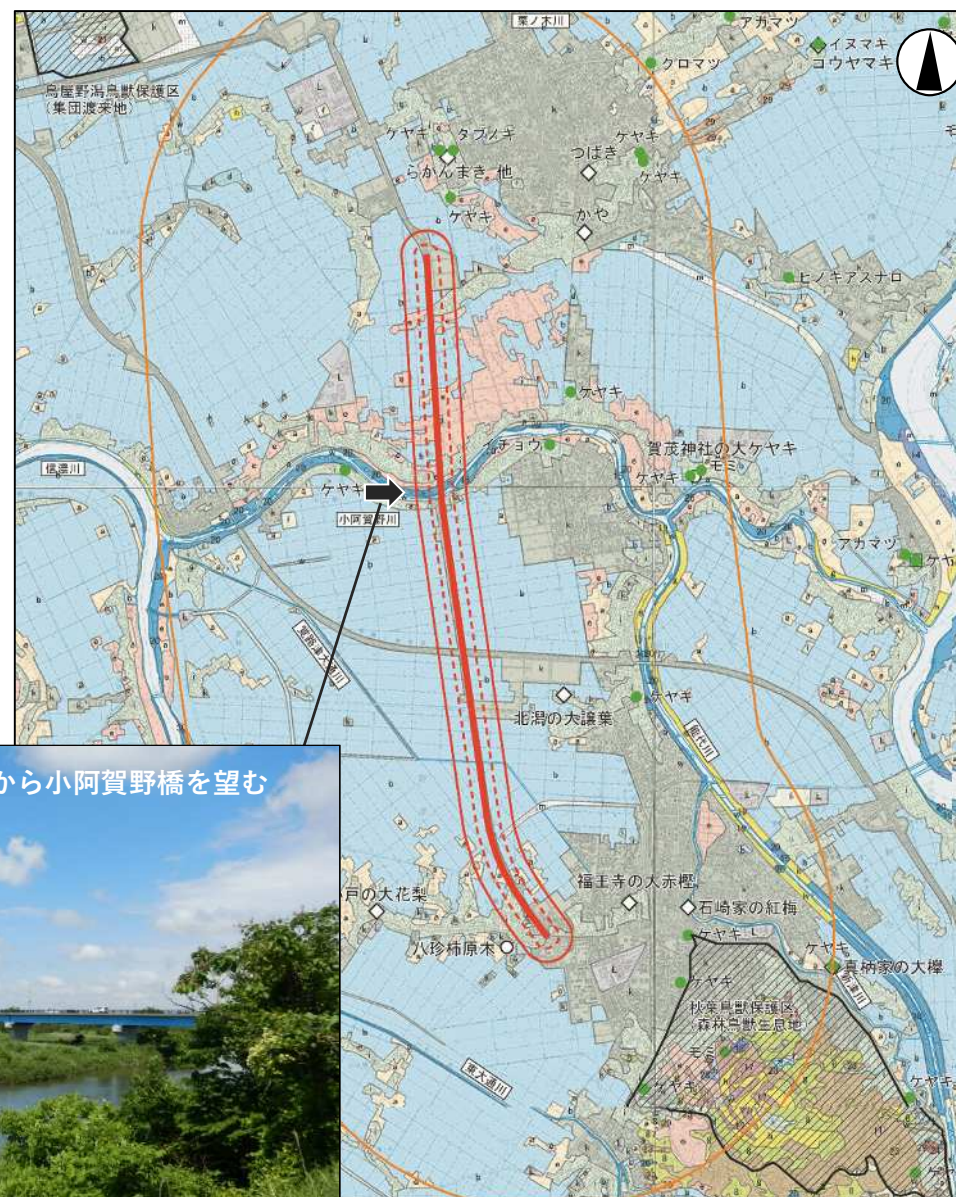
P.4-7～34

### 予測方法

重要な種及び注目すべき生息地、群落の生育地、生態系の保全上重要であって、まとめて存在する自然環境と対象事業実施想定区域の位置関係を踏まえ、環境配慮が必要な対象への影響程度を整理

### 凡 例

- 対象事業実施想定区域
- 動物・生態系影響想定範囲（行動圏の広い動物に限る：道路端から3km程度）
- 動物・生態系影響想定範囲（道路端から250m程度）
- ⋯ 植物影響想定範囲（道路端から100m程度）
- 鳥獣保護区
- 天然記念物（新潟県指定）
- ◇ 天然記念物（新潟市指定）
- 巨樹・巨木林
- 巨樹・巨木林（分布地域）



小阿賀野川左岸から小阿賀野橋を望む

動物・植物・生態系（道路の存在） [予測・評価結果]

P.4-7～34

動物

鳥獣保護区

植物

重要な植物の生育域  
となり得る環境

生態系

保全上重要な  
河川環境や鳥獣保護区

道路の存在が影響を与える可能性

環境影響の  
回避、低減  
に係る評価

- ・ 本事業は既に供用されている道路(暫定2車線又は3車線)に沿った改築(拡幅)を行う。
- ・ **取得済みの道路用地を使用**し、土地の**改変範囲**を**できる限り小さく**する。
- ・ 環境配慮が必要な対象への影響が小さい構造を採用する。

重大な環境影響の回避又は低減が図られているものと評価



### 3.計画段階配慮計画書の概要 (4) 予測及び評価の結果

P28

㊦ 新潟市

景観・人と自然との触れ合いの活動の場・文化財（道路の存在） [予測方法]

P.4-7～34

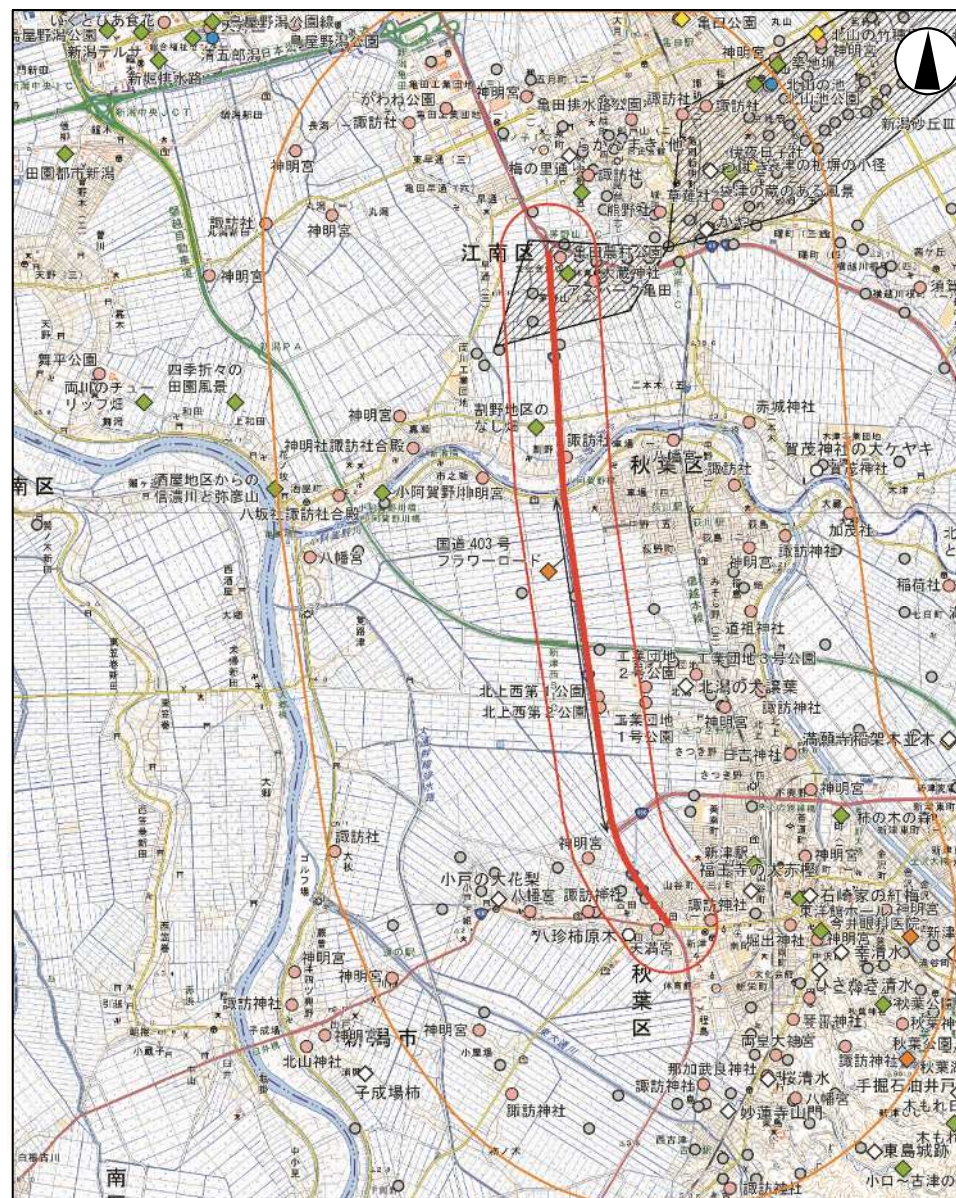
#### 予測方法

環境要素と対象事業実施想定区域の位置関係を踏まえ、環境配慮が必要な対象への影響程度を整理

- ・ 主要な眺望点と眺望景観、  
主な景観資源【景観】
- ・ 主要な野外レクリエーション地等【人触れ】
- ・ 主要な埋蔵文化財等【文化財】

#### 凡 例

- 対象事業実施想定区域
- 景観の影響想定範囲（道路端から 3km 程度）
- 人と自然との触れ合いの活動の場の影響想定範囲（道路端から 500m 程度）
- 自然景観資源（砂丘）
- 自然景観資源（湖沼）
- 新潟県指定文化財
- 新潟市指定文化財
- 新潟市都市景観賞応募景観
- 新潟市都市景観賞・お宝景観 30 選
- その他の景観資源
- 主要な眺望点・自然との触れ合いの活動の場
- 埋蔵文化財包蔵地



3.計画段階配慮計画書の概要  
(4) 予測及び評価の結果

P29

新潟市

景観・人と自然との触れ合いの活動の場・文化財（道路の存在） [予測・評価結果] P.4-7～34

景 観

主要な眺望点等となる  
多数の公園や神社など

人と自然との触れ合いの  
活動の場

公園やスポーツ施設等

文 化 財

多数の  
埋蔵文化財包蔵地

道路の存在が影響を与える可能性

環境影響の  
回避、低減  
に係る評価

- ・ 本事業は既に供用されている道路(暫定2車線又は3車線)に沿った改築(拡幅)を行う。
- ・ **取得済みの道路用地を使用**し、主要な景観資源や人と自然との触れ合いの活動の場の**直接改変は想定されない**。(フラワーロードは代替措置を別途検討)
- ・ **環境配慮が小さい構造**や、**緑化等**できる限り**自然環境に配慮**する。
- ・ 埋蔵文化財の存在が示唆された場合は、**文化財保護法に則り保全**を図る。

重大な環境影響の**回避又は低減が図られている**ものと評価



計画段階配慮事項の検討に係る総合評価

P.4-7～34

計画段階配慮事項に係る調査、予測、評価の結果  
検討した環境保全措置の実施

事業者により実行可能な範囲でできるかぎり  
**回避・低減・最小化が図られている**と評価

課題

引用事例による予測等、予測条件等に不確実性のある環境要素がある

方法書以降の手続きにおいて、  
**事業計画の進捗と現況調査結果**を踏まえた**予測及び評価**を実施

# 4

## 意見書について

## 配慮書の縦覧・意見書の提出状況

### 配慮書の縦覧

縦覧期間	令和6年11月1日（金）～11月30日（土）【30日間】
縦覧場所	<p>①新潟市役所本館（環境対策課） ※事業者（道路計画課）と環境対策課の執務室が同じフロアであるため窓口を統一</p> <p>②江南区役所（建設課）</p> <p>③秋葉区役所（建設課）</p> <p>④中央図書館（ほんぽーと） ※市ホームページでも図書を公表</p>

### 意見書の提出

意見書の提出期間	令和6年11月1日（金）～12月16日（月）【46日間】
意見書数	提出なし